

射水市教育委員会 11月定例会会議録

- I 開会日時 平成29年11月20日(月) 開会 午前9時30分
閉会 午前10時20分
- II 会議場所 庁舎会議室201
- III 出席委員
長井教育長、眞岸委員、宮原委員、織田委員、野上委員
- IV 出席事務局職員
園木副参事(生涯学習・スポーツ課長)、原学校教育課長、杉本中央図書館長、原田新
湊博物館長、荒治教育センター所長、福井給食センター所長、菅原学校教育課長補佐、
京角学校教育課副主幹、北村生涯学習・スポーツ課長補佐
- V 傍聴人数 なし
- VI 会議の要旨
- 1 会議録の承認
承認された。
 - 2 事務局報告
 - (1) 射水市議会11月臨時会会期日程について
 - (2) 平成29年度12月補正予算について
 - (3) 射水市議会12月定例会提出議案について
副参事が資料2、資料3に基づき説明した。(資料1はなし。口頭説明)
 - 3 各課等の連絡事項及び報告事項
 - (1) 平成29・30年度射水市中学生提案型ネット利用対策支援事業
 - (2) 平成29年度射水市子供議会体験プログラムの開催について
学校教育課長が資料4、資料5に基づき説明した。
 - (3) 平成30年射水市成人式について
生涯学習・スポーツ課長が資料6に基づき説明した。
 - (4) 教育委員会行事予定
学校教育課課長補佐が資料7に基づき説明した。
 - 4 その他
 - (1) マイナンバーカードに図書館利用カードの機能を追加(カードの統合化)について、
中央図書館長が資料に基づき説明した。
 - (2) 次回教育委員会の開催日時について
12月26日(火)10時から 庁舎会議室401

5 議事

(1) 平成29・30年度射水市中学生提案型ネット利用対策支援事業

[委員] 具体的なアドバイザーは決まっているのか。

[事務局] 依頼した団体で推薦してもらうこととしている。

[委員] ネット犯罪は警察、依存についてはカウンセラーなど専門的な方がアドバイザーになってもらうのがよいのではないか。

[事務局] 今回初めての実施であり、今回の結果を見て次回に向け検討したい。

[教育長] 各校でも独自のルールを作っているが、今回の2校からの提案を他の中学校でも実践していくことになるのか。

[事務局] 今回の提案を来年度、全中学校でも実践していくこととしており、全中学校は了承している。また、提案内容によっては、小学校や家庭にも広げていくことも考えられる。

[委員] インターネットは便利なツールである一方、危険性も伴う。利用者は低年齢化しており、使う側の意識を高める意味で今回の提案はよい。

[事務局] ネット利用対策はPTAも問題視しており、ルールづくりがスタートであり、それを家庭で定着させていくことが重要であると伝えた。

また、1校あたり30万円以内の企画を考えることも本事業のねらいであり、現在2校で様々なアイデア出しが行われている。

[教育長] 今回の提案と実践を自校、他校で継続していくことが大切である。

この事業は来年度も続けていくのか。

[事務局] 状況を見ながら検討していきたい。考え方としては、ネット利用対策に限定せず、中学生の提案型事業として続けていきたいと考えている。なお、去年は、中学生が提案したランチメニューや海王丸パークのトイレ整備の提案が実現している。

[委員] ネット利用対策は子供だけの問題ではなく大人も関わるのが大切であり、この提案が家庭にも良い影響となればよいと思う。

[教育長] 本事業は、ジュニアギャラリー、ハートフルコンサート、ランチメニューなどと同じ中学生の活動を応援していくものであり、ふるさと教育にもつながるものと考えている。

(2) 平成29年度射水市子供議会体験プログラムの開催について

[委員] 今回参加していない学校がある。また大規模校はどのように対応するのか。

[事務局] 今年度は、学校行事が確定後に案内したため、参加できない学校があった。来年度は多くの学校からの参加希望があると思う。また、大規模校はクラス単位での参加となる。

[委員] 子供のときから市政に関心をもってもらうためにも良い事業であると思う。

[事務局] 今後は、社会見学のメニューのひとつとして組み入れていくことも考えられる。

午前10時20分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。

文化財視察

午前11時から 勘兵衛はうす(旧田中家住宅) 射水市本江2280番地